



ふるさと笠松の「ちょっといい話」107号



道徳のつどいの講師 宗次氏にインタビューしました。

12月7日に名古屋市栄にある宗次ホールを訪ねました。宗次ホールには2003年に設立されたNPOイエローエンジェルの事務室があり、事務長の宗次 徳二(むねつぐ とくじ)氏が仕事をしてみえます。(写真→)

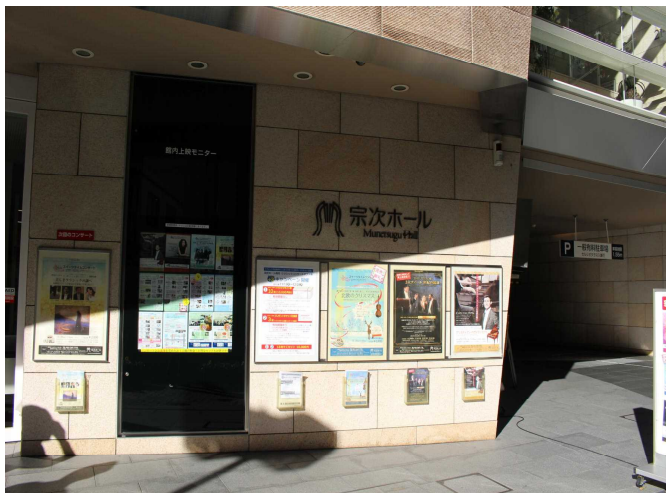


宗次氏には平成28年2月28日の日曜日午後2時から4時に笠松中央公民館の3階大ホールで開催します「第8回道徳のまち笠松のつどい」の講師をお願いしていますので、打ち合わせのために伺ったのです。事務室はファイルに埋まっていたので、何のファイルかお尋ねしたところ、

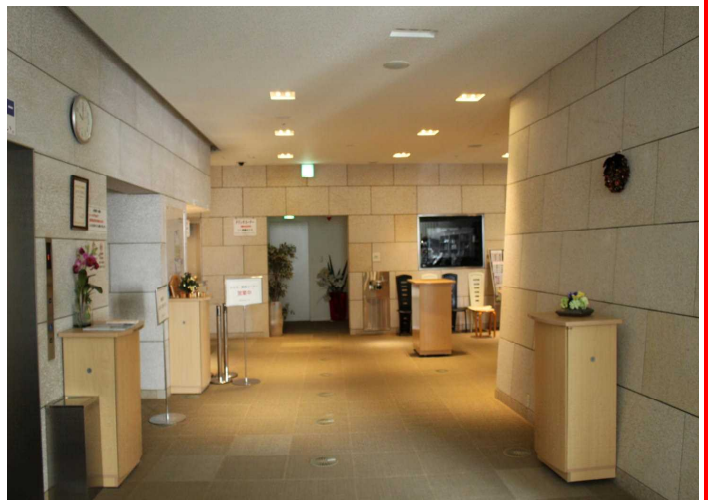
何のファイルかお尋ねしたところ、ブラスバンド部などへ楽器を寄付した記録がファイルしてあるのだそうです。おびただしいファイルの数なので、驚かされました。道徳のまち笠松や講演会の主旨を説明した後で、宗次氏に宗次ホールを案内していただきました。栄に300席もある音楽ホールがあることも驚きでしたが、クラシック音楽が専門のホールであることや、ランチタイムコンサートの開催回数が日本一であることなどビックリすることばかりでした。さて、講演会ではどんなお話を聞くことができるのか、楽しみはどんどんふくらみます。皆様も是非、講演会を聞きに来て下さい。

講師紹介

宗次氏は、カレーハウスCoCo壺番屋の創業者です。宗次氏は孤児院で育ち、両親は不明です。3才の時に裕福な雑貨商の宗次夫妻の養子になりましたが、養父が競輪好きで家は破産してしまいました。義母は黙って家を出て行ったため、義父と電気のない家に住み、悲惨な少年時代を過ごしました。生活保護を受けたり、アルバイトをするなどして苦勞して高校を卒業しました。その後、CoCo壺番屋を創業し、ご飯の量や辛さを選べるサービスなどで、壺番屋は1300店にも増え、ギネスブックにも記載されました。現在は会長を退き、NPOを設立して事務長になりました。クラシック音楽専用の宗次ホールを栄にオープンし、クラシック音楽の普及や演奏家を育てる事業に取り組んでみます。(講演会は入場無料、申し込みの必要はありません。※詳細はインターネットで笠松町のホームページにアクセスし、道徳のまち笠松のバナーをクリックしてください。)



栄にある宗次ホールの入り口



宗次ホール内の様子